

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/11/12）

#.18

Name:	エーちゃん	Age:	15歳	■投与開始時の BUN/CRE	78.9 / 3.1
■薬剤名	エスポー			■投与時猫体重	2.14kg

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化 2007.9.24～2007.10.20（週 2 回／0.3ml） 20%→21.9% 2007.10.21～継続中（週 1 回／0.3ml） →25.8%まで回復 病院で先生が直接筋肉注射
■抗体について： 抗体が出来なかった （先生からはそのようなことは言われていない）
■他の貧血対策： ペットチニック 0.8～1ml を 1 日 2 回に分けて

■飼い主さんの感想

口内炎や歯槽膿漏の炎症で、白血球数がかなり高い時期にエポをはじめたので、効いてくるのに時間がかかったように思います。

11月に抜歯の麻酔の際に（静脈点滴をするため）輸血をしました。

抗体の不安はありますが、先生は「あくまでホルモンの補充だから・・・」という言い方をされていて、あまり難しく考えないようにになりました。

初めは、なかなか貧血が改善されずに、それこそ抗体の心配や、量や回数に問題があるのか、などいろいろ考えましたが、その先生のエポに対する捉え方や、最近になって、ホントに少しずつですがPCVが改善されてきているようなので、このままのペースで維持できるように、続けていきたいと思っています。

《じいや補足》

EPO を始める時期については、情報が少ない現状では飼い主さんは悩んで当然ですし、色々な葛藤もあります。

ただ腎性貧血の場合は、急激にガクッとヘマトクリット下がることもあり、そうすると EPO だけでは追いつかなくなってしまうケースがあります（輸血が必要になる場合があります）。

なので悩みながらも、その投与の時期を誤らないことが大切だと思います。

EPO の効き目が現れるのは、個体差はあると思いますが数日～数週間を要するようです。その間、飼い主さんはさぞかし心配であり、次回の投与のために検査が欠かせません。

エーちゃんは抜歯のために輸血も経験しましたが、その後は順調に回復されているようでなによりです。

そして継続していることも、ガイドラインに基づいた方法だと思いました。

投与方法がエーちゃんは筋肉注射ですが、皮下注射・皮下輸液に混ぜて・筋肉注射と様々な方法があるよう

です。さまざまな経験談を拝見して、効き目についてはさほど差がないのかな？という印象を受けました。